

## 今年の秋サケ来遊見通しについて

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構  
さけます・内水面水産試験場 さけます資源部

### 昨年（R5年）の来遊状況

令和5年（2023年）の全道への秋サケ来遊数（沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計）は2,257万尾と7年ぶりに3,000万尾を上回った令和4年を下回り、再び2,000万尾台へ減少しました（前年比67.4%、図1）。年齢別にみると、4年魚（令和元年生まれ）は1,562万尾（前年比66.0%）と5か年平均（H23～27年）の8割程度に留まりました。また、5年魚（平成30年生まれ）は481万尾（前年比209.6%）とR4年の来遊数の2倍程度であったものの、5か年平均（H23～27年）の33%に留まりました。一方、3年魚（R2年生まれ）は208万尾（前年比28.6%）と5か年平均（H23～27年）を若干上回りました。以上より、昨年の来遊数の減少には4年魚の伸び悩みが大きく影響したと考えられました。

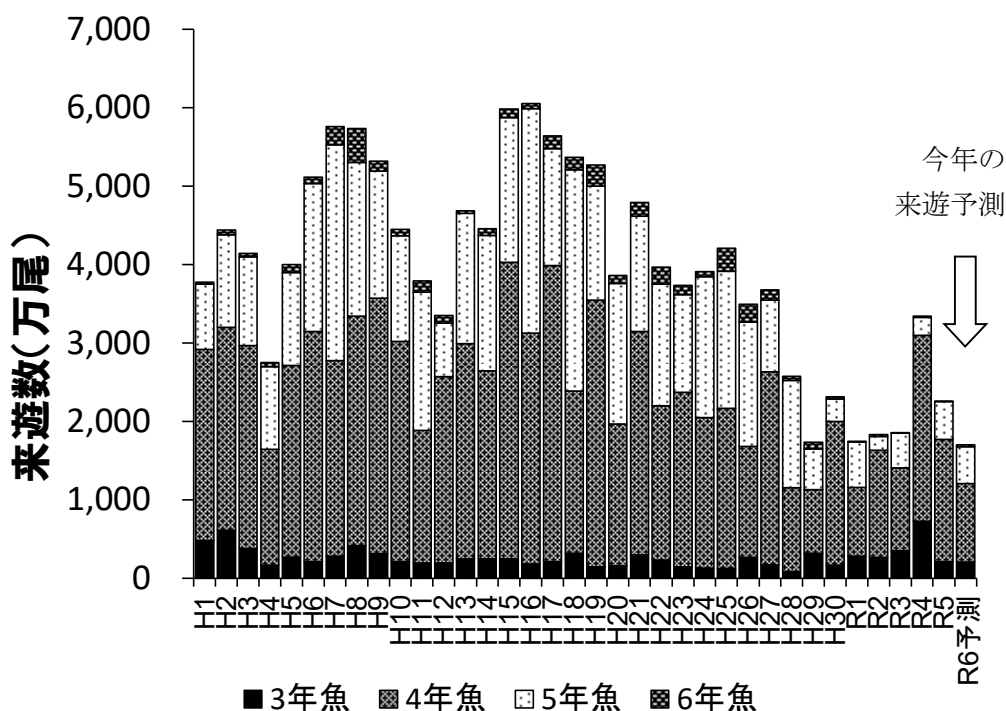


図1 最近の北海道へのサケの（年齢別）来遊数の推移

### 今年の来遊の見通し

今年（令和6年）の全道への来遊数は1,703万尾と予測され、昨年の75.5%に留まる見込みとなっています（図1）。昨年の3年魚は208万尾と平均（H23～27年）を若干上回ったものの、近年の若齢での回帰を考慮し、今年の4年魚は1,003万尾と前年の64.2%に留まる見込みとなっています。また、昨年の4年魚が1,562万尾と平均（H23～27年）の78%であったものの、若齢での回帰を考慮し、今年の5年魚は471万尾と昨年と同程度の来遊見込みとなっています。

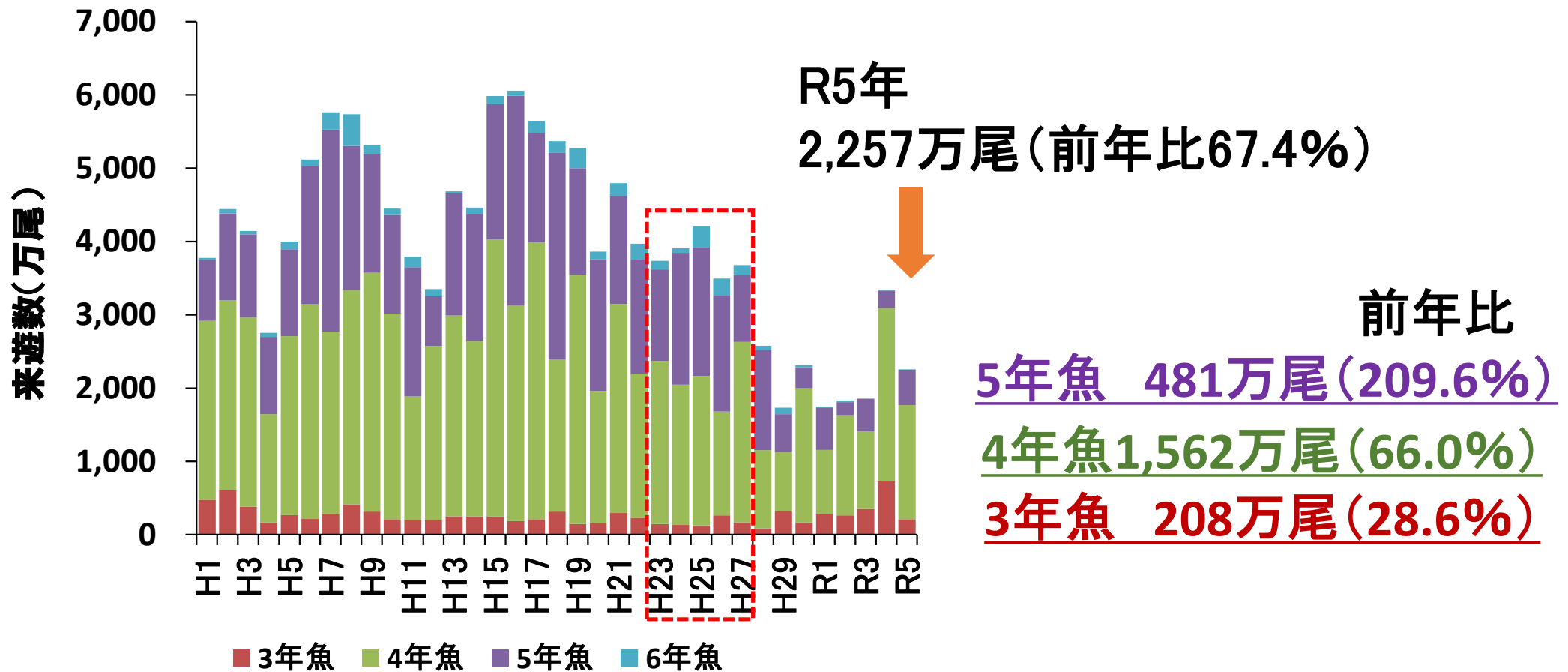
地区別の来遊予測値については、北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場のホームページをご覧ください（<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/hatch/index.html>）。

# 今年の秋サケ来遊見通しについて(北海道)

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構  
さけます・内水面水産試験場 さけます資源部 藤原 真

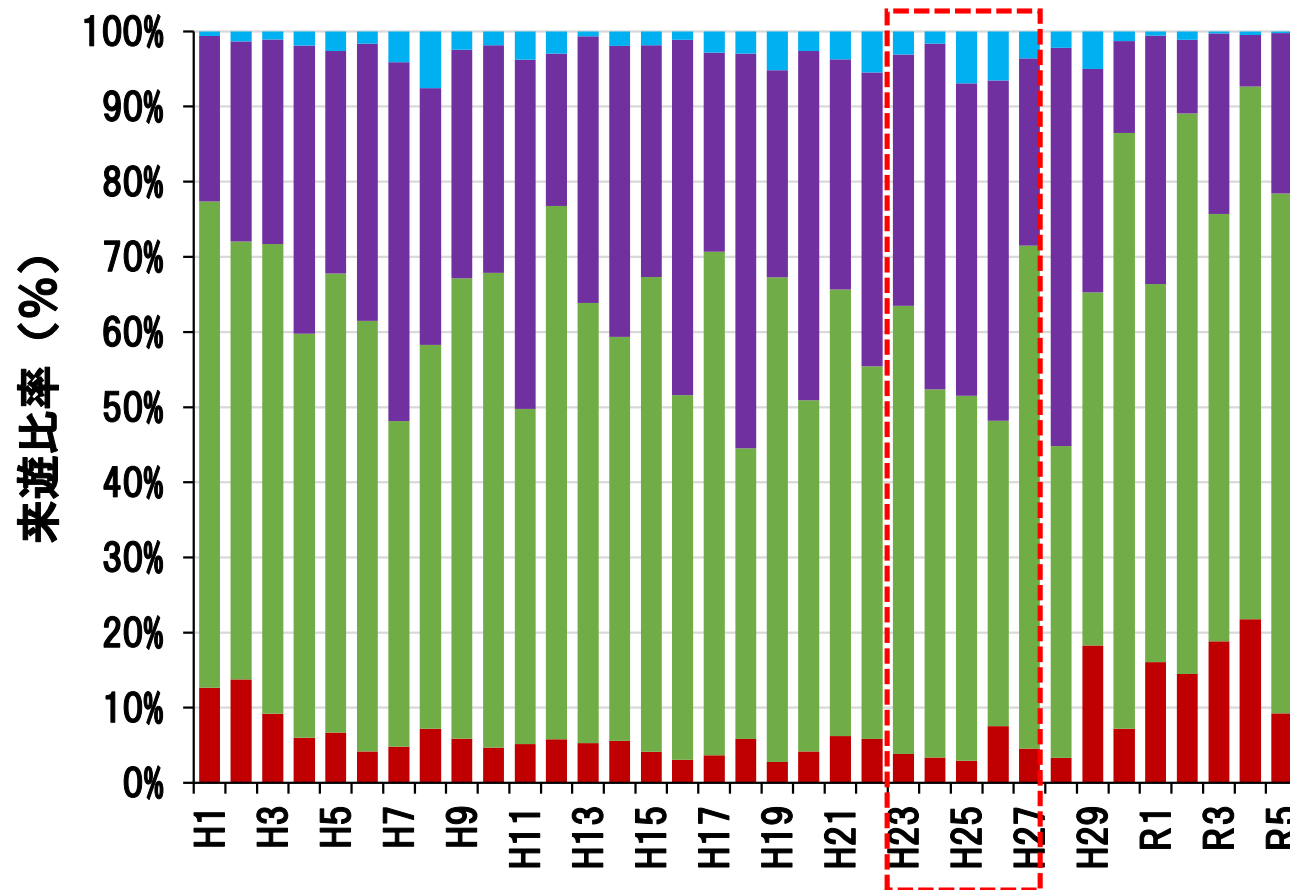
2022/09/16

# 最近の秋サケの来遊数(全道;年齢別)



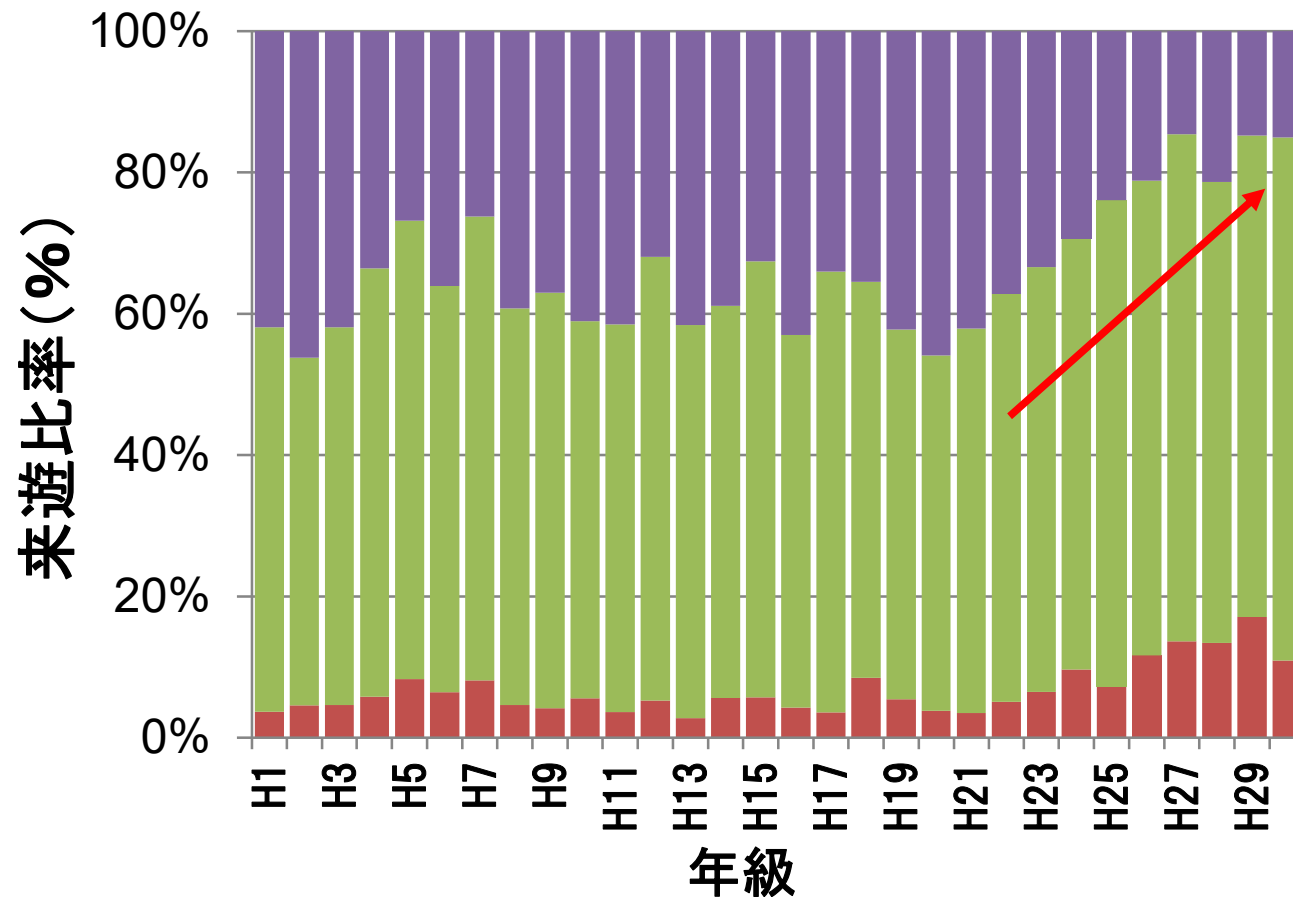
- ✓ R4年は7年ぶりに3,000万尾を上回ったが、R5年は再び2,000万尾台へ
- ✓ 平均 (H23-27) 5年魚 ; 1,458万尾、4年魚 ; 2,013万尾、3年魚 ; 167万尾
- ✓ R5/5年平均 5年魚 ; **33.0%**、4年魚 ; **78.0%**、3年魚 ; 125.0%
- ✓ R5年~4年魚と5年魚の減少を受け、H30年と同程度の来遊数

# 最近の秋サケの来遊数(全道;年齢別)



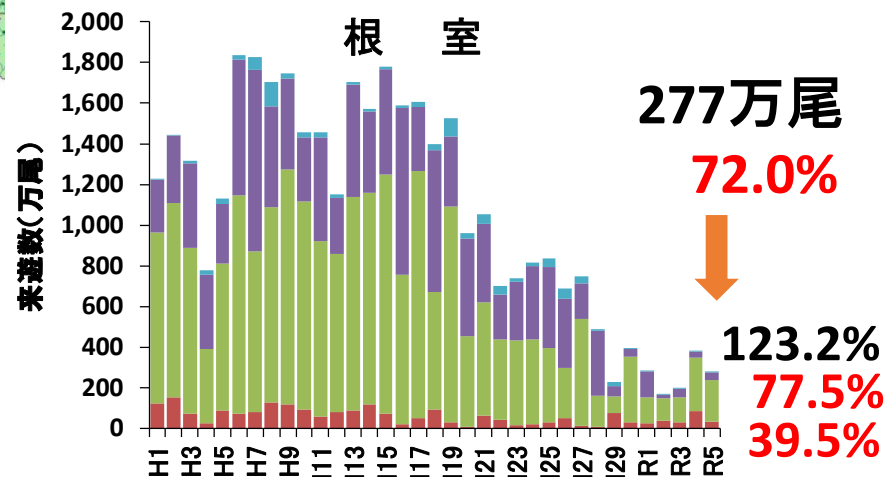
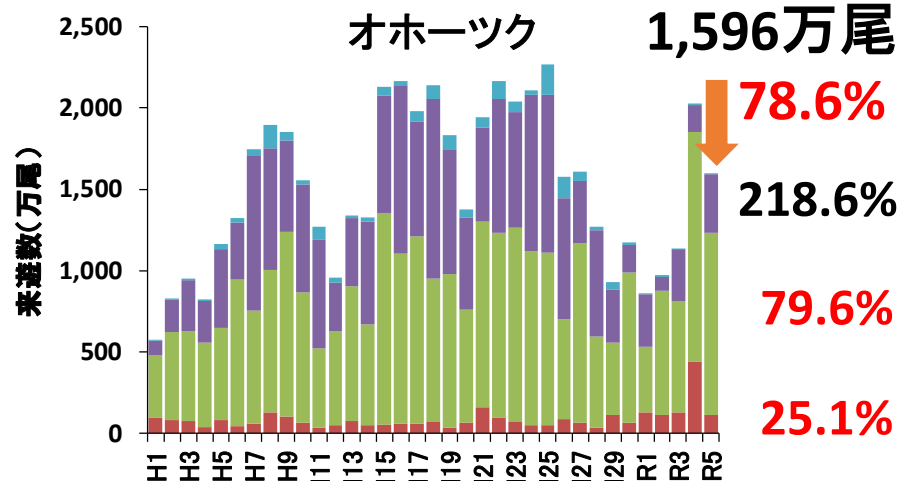
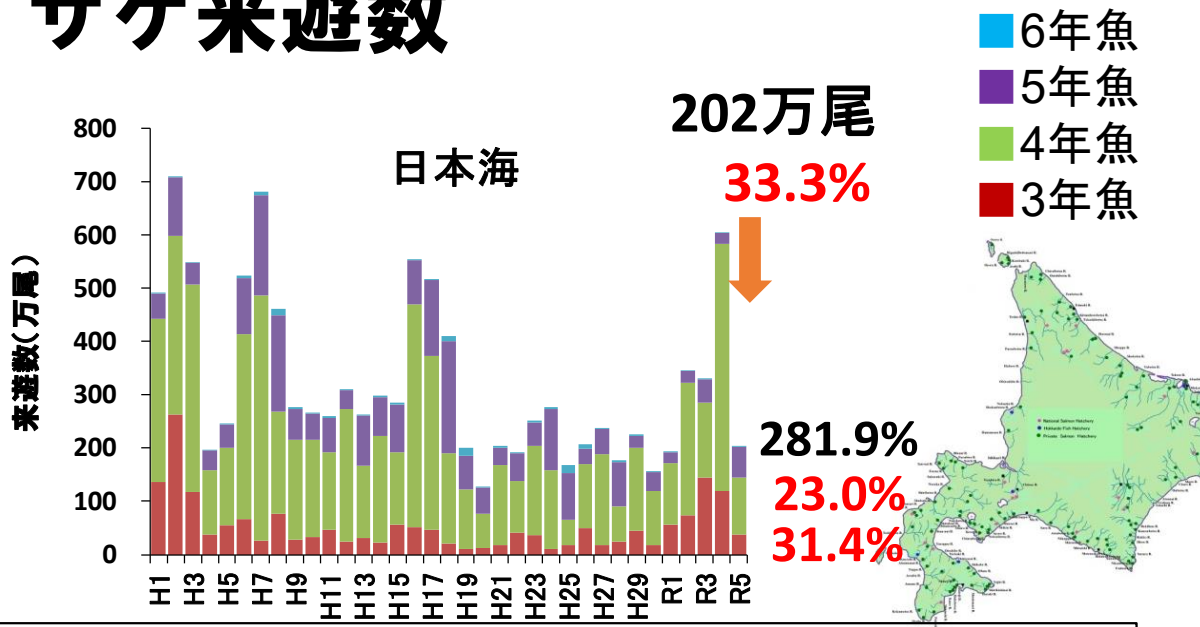
- ✓ R5年の年齢組成            3年魚 ; 9.2%、4年魚 ; 69.2%、**5年魚 ; 21.3%**
- ✓ 5か年平均 (H23-27) 3年魚; 4.4%、4年魚; 52.8%、5年魚; 38.3%
- ✓ 5年魚の比率が21.3%と前年より高いものの、5か年平均の約1/2

# 最近の秋サケの来遊数(全道;年級別)



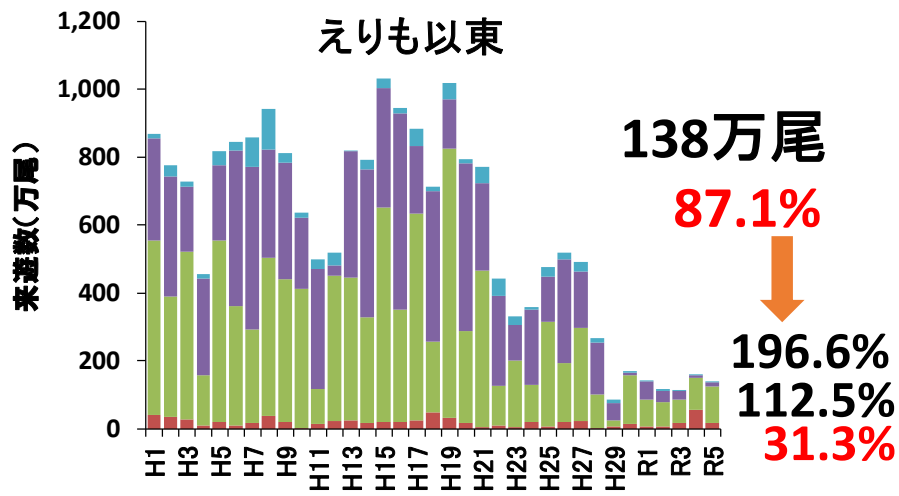
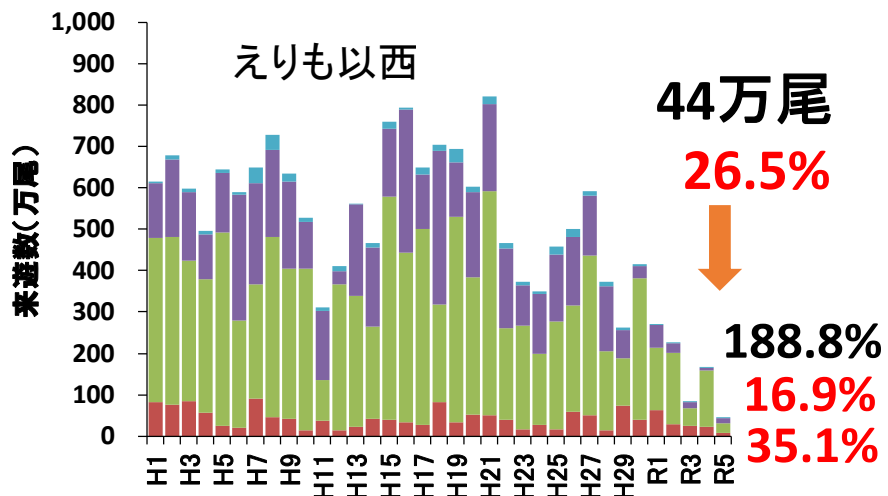
- ✓ H21年級以降; 5年魚の比率が減少、3・4年魚の比率増加  
～若齢化傾向
- ✓ H30年級 (3年魚9.2%、4年魚69.2%、5年魚21.3%)

# 最近35年間の各海区へのサケ来遊数

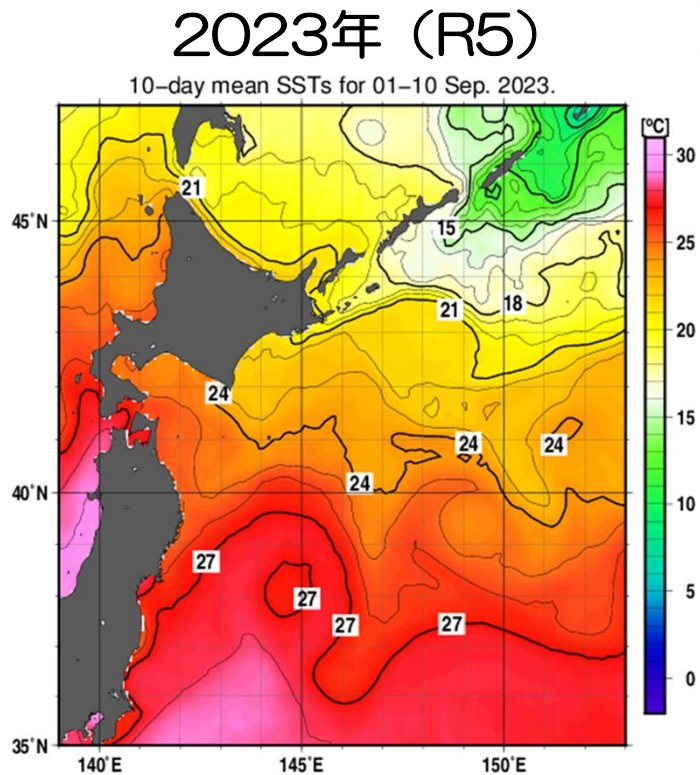


各海区ともR4年を下回った。特にえりも以西で顕著。

- 5年魚(H30年級);各海区とも前年を上回った。
- 4年魚(R1年級);えりも以東以外で前年を下回った。
- 3年魚(R2年級);いずれの海区も前年を下回った。



# 秋サケ来遊時期における高水温の影響



- 2023 (R5) 道内全域が20°C以上
  - 特に日本海とえりも以西では24°C以上
  - 道南ではカマス、網走ではフグが大量に漁獲された。
- 高水温の年には漁獲盛期の遅れ、漁獲量の減少がみられる。

近年、サケ定置でのブリ・シイラの混獲が多い

# 最近4年間の沿岸水温(平年差) 表面水温

9月上旬

9月中旬

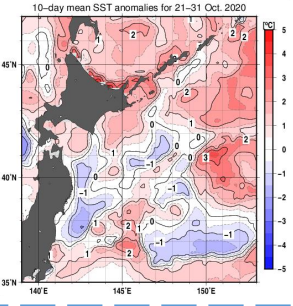
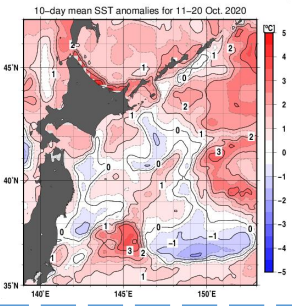
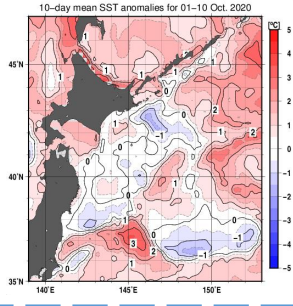
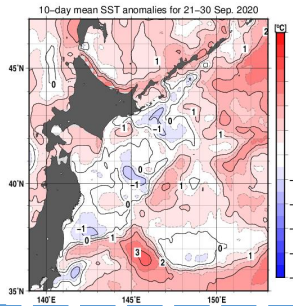
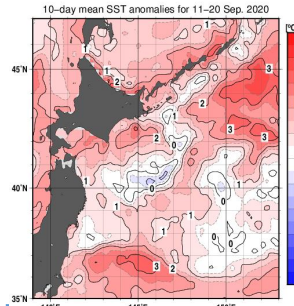
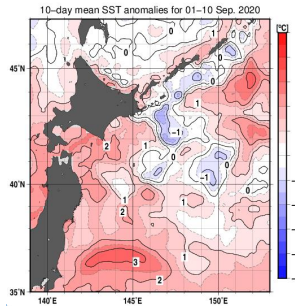
9月下旬

10月上旬

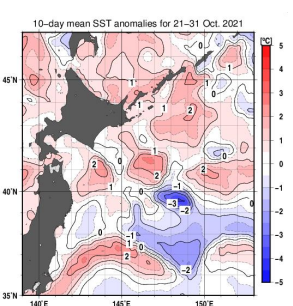
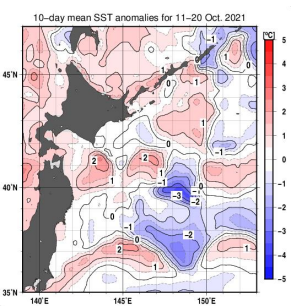
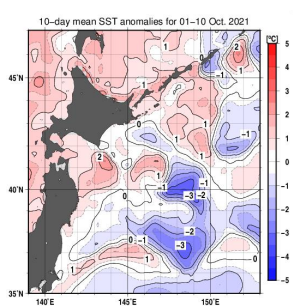
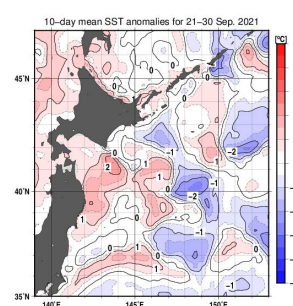
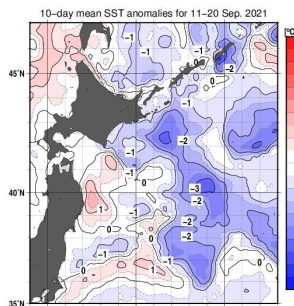
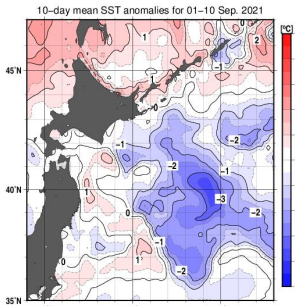
10月中旬

10月下旬

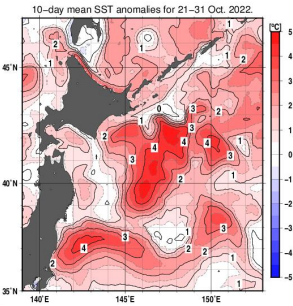
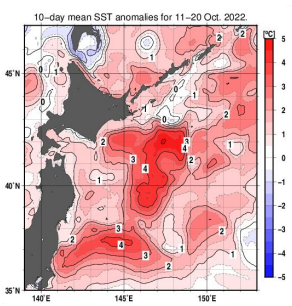
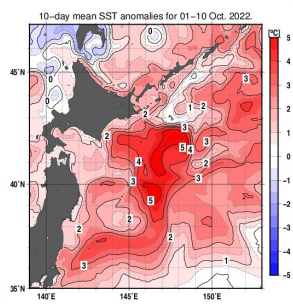
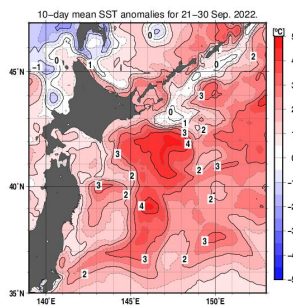
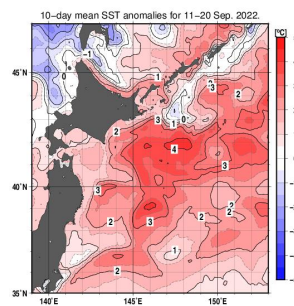
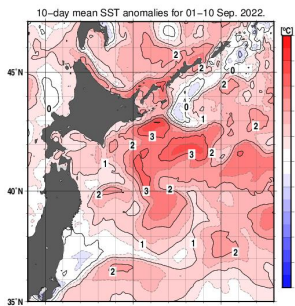
R2



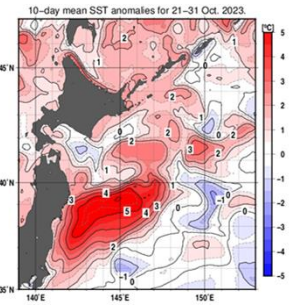
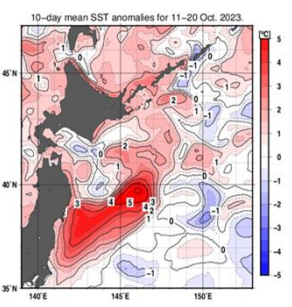
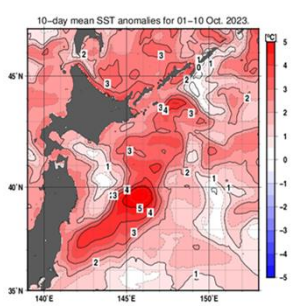
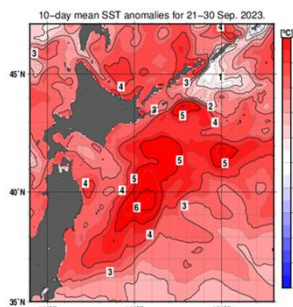
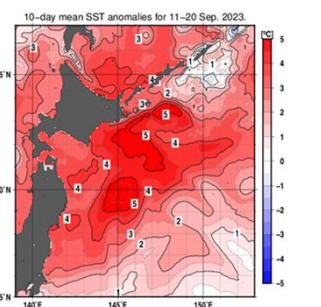
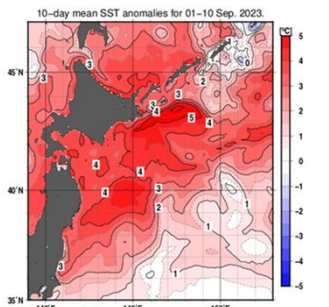
R3



R4



R5





# 最近4年間の海流

9月上旬

9月中旬

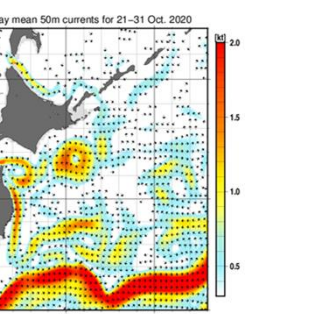
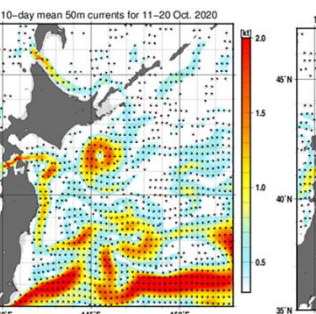
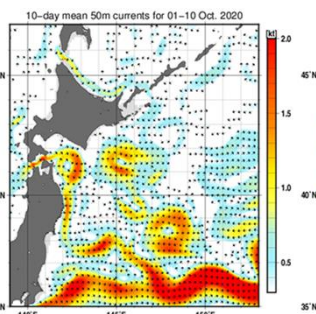
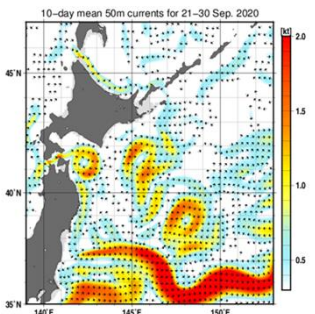
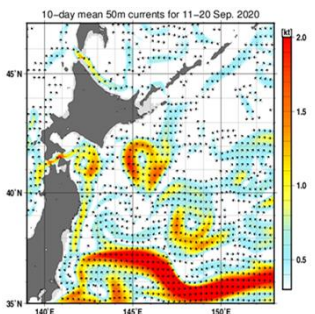
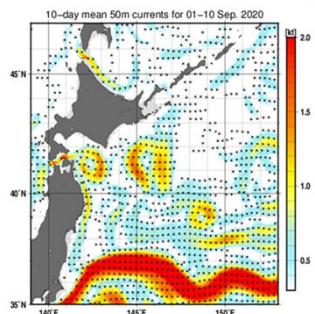
9月下旬

10月上旬

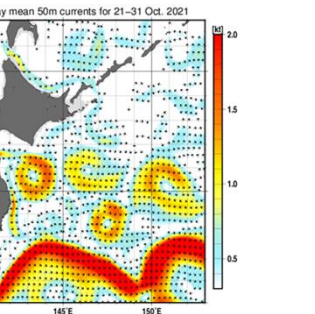
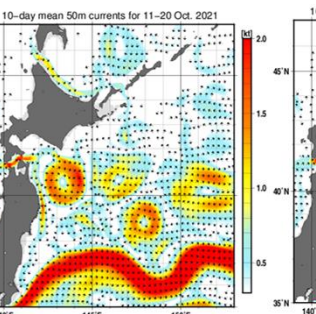
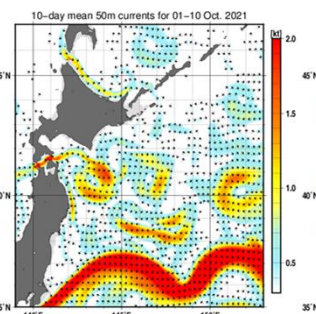
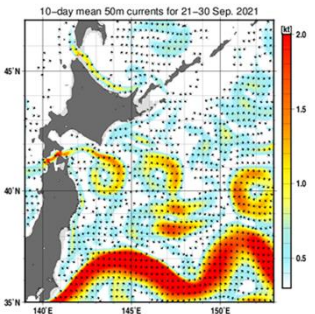
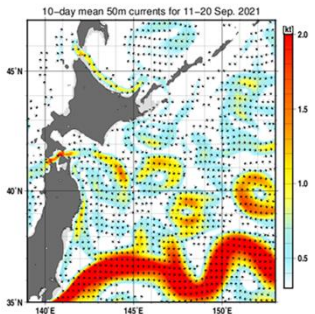
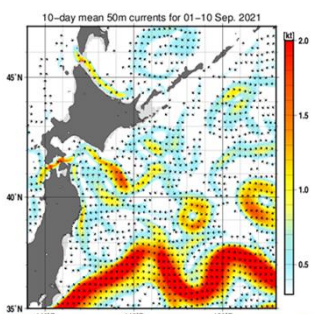
10月中旬

10月下旬

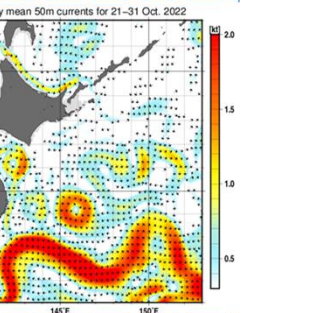
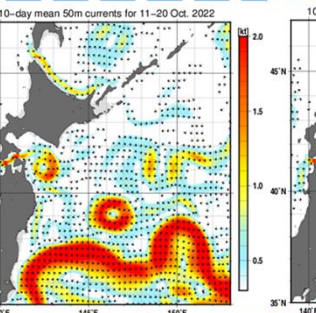
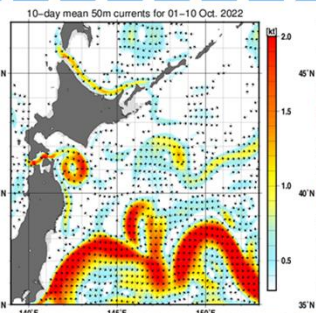
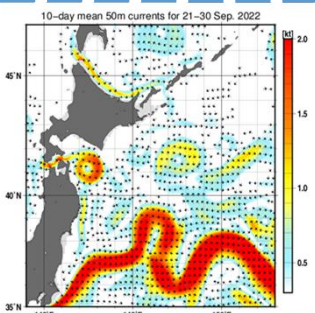
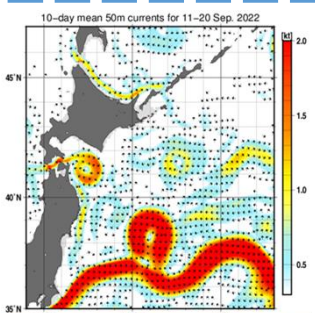
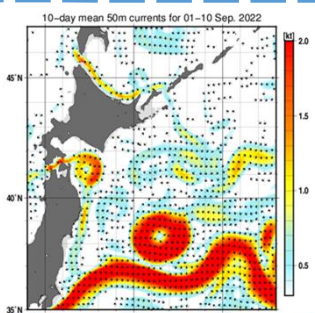
R2



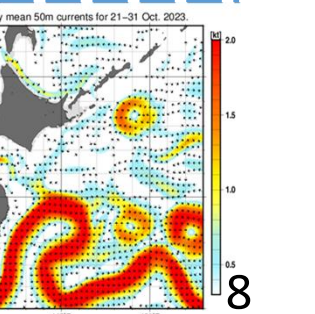
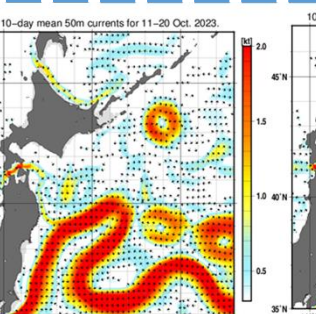
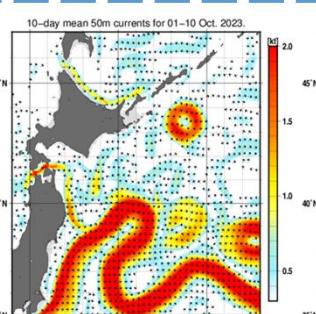
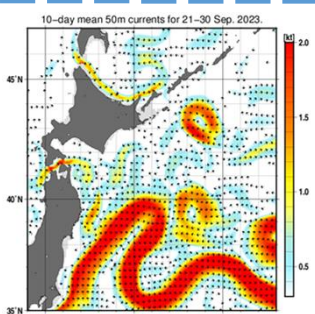
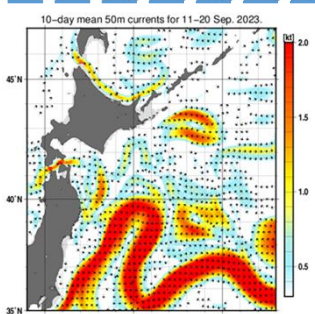
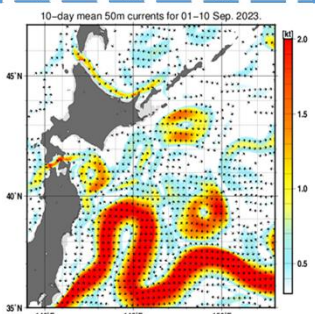
R3



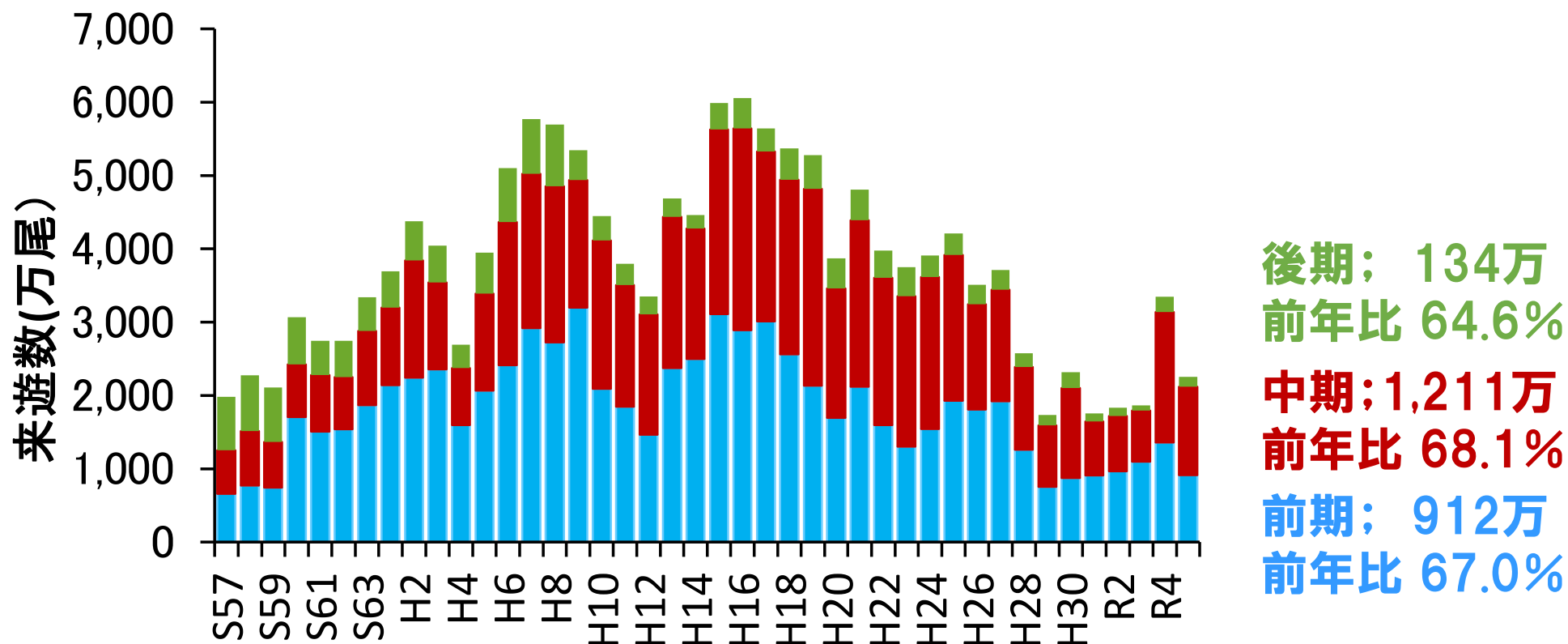
R4



R5



# 最近の秋サケの来遊数(全道;時期別)

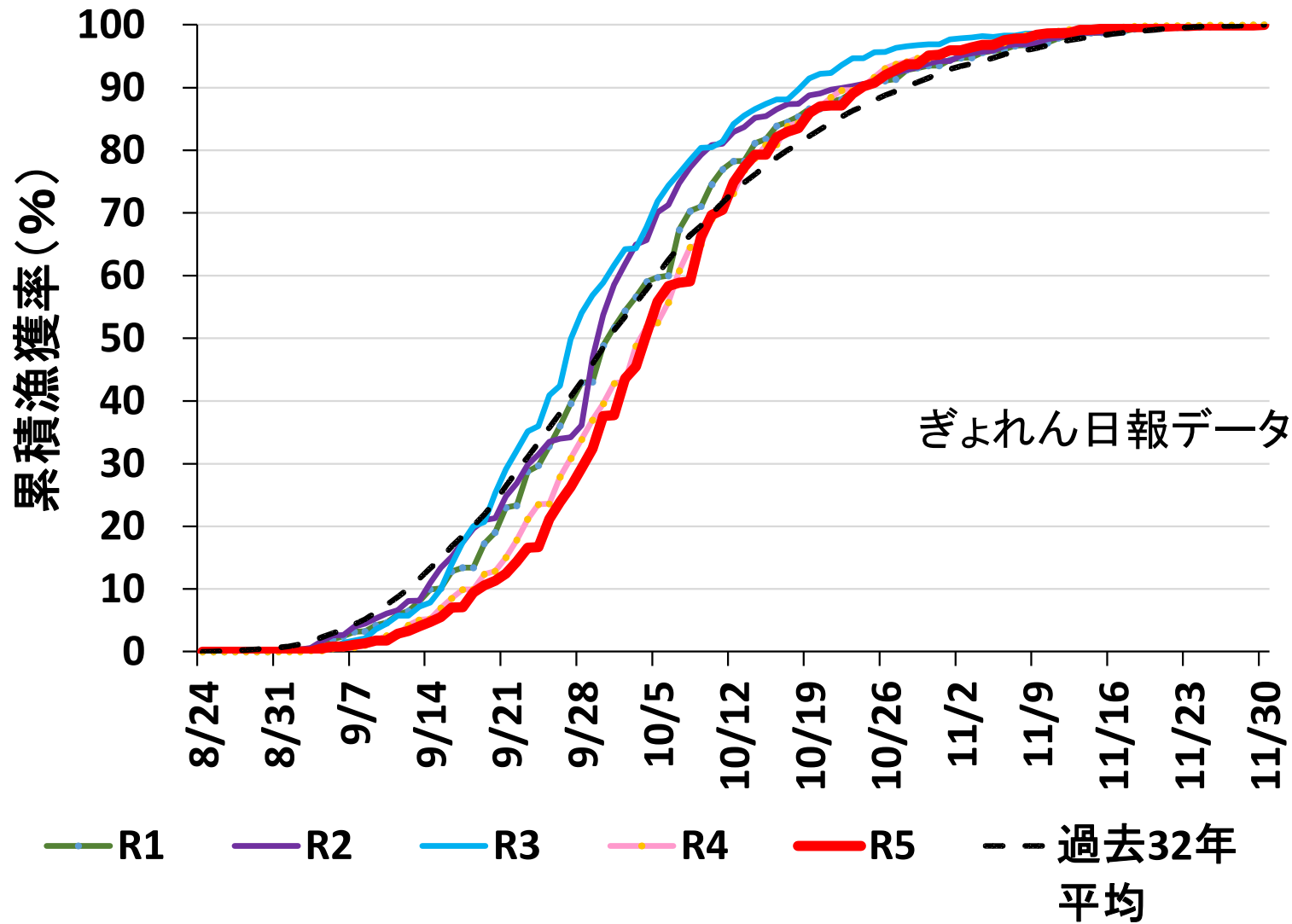


■ 前期(9月) ■ 中期(10月) ■ 後期(11月以降)

- ✓ R5年の期別組成 (前期 ; 40.4%、中期 ; 53.7%、後期 ; 5.9%)
- ✓ 5か年平均 (H23-27) (前期 ; 44.7%、中期 ; 47.4%、後期 ; 7.9%)

中期の来遊数の割合が高かった。

# 累積漁獲率の推移(全道)



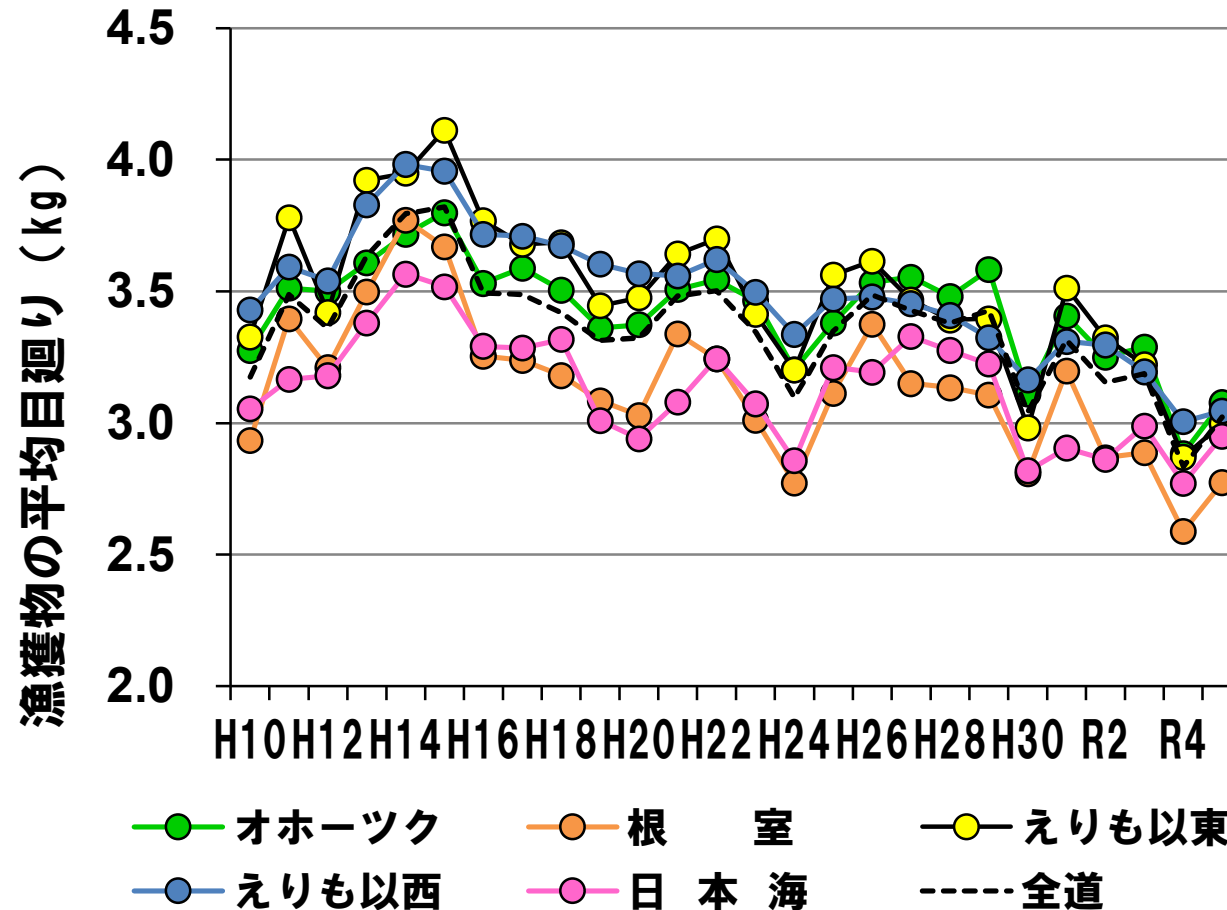
✓9月中の漁獲伸び悩み、10月以降上向き

# 昨年の漁獲物の魚体サイズ



令和4年9月16日 斜里港

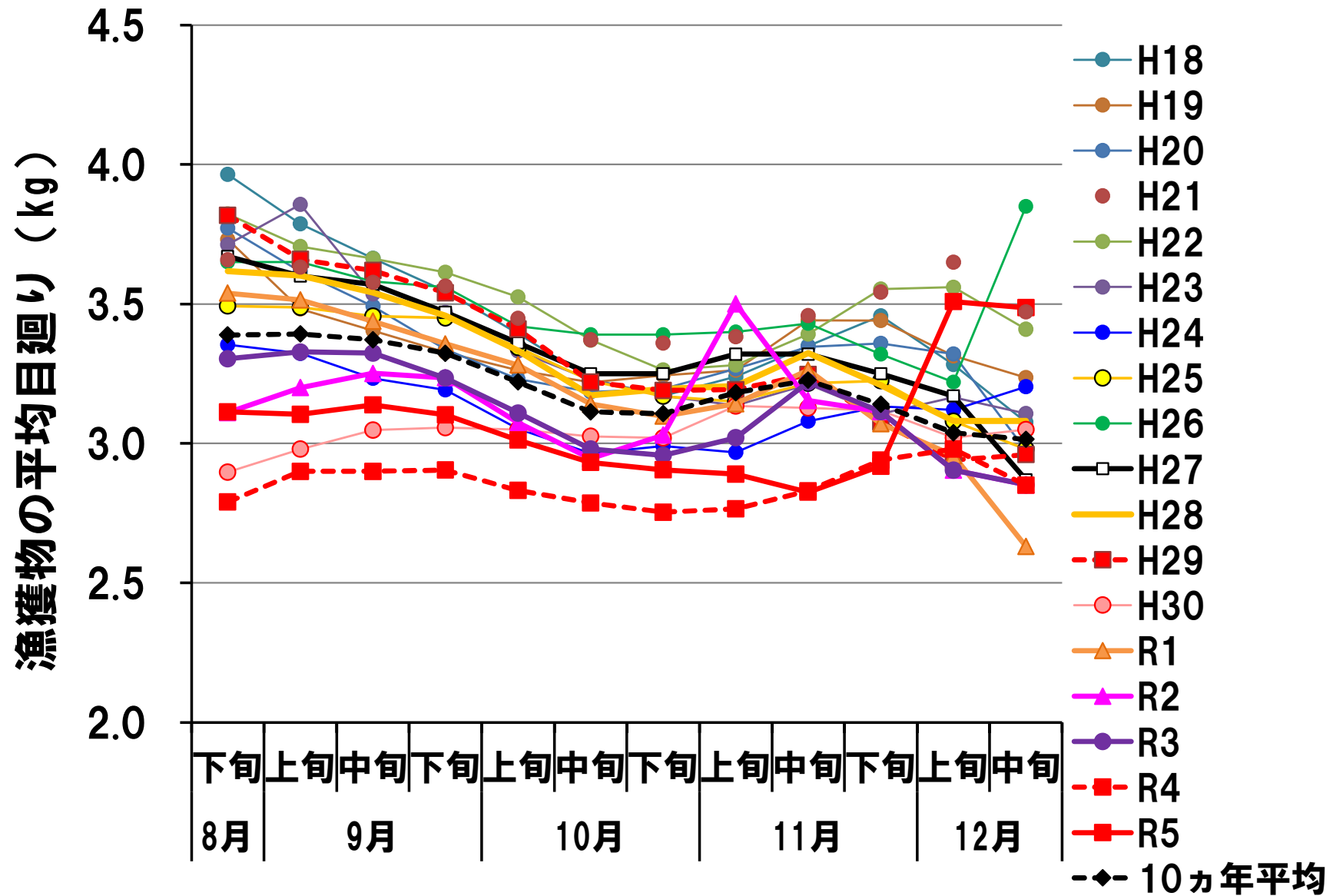
# 漁獲物の平均目廻り



連合海区委員会沿岸漁獲速報値

- いずれの海区でもR4より回復
- 全道平均で3.02kgとH10年以降2番目に低い

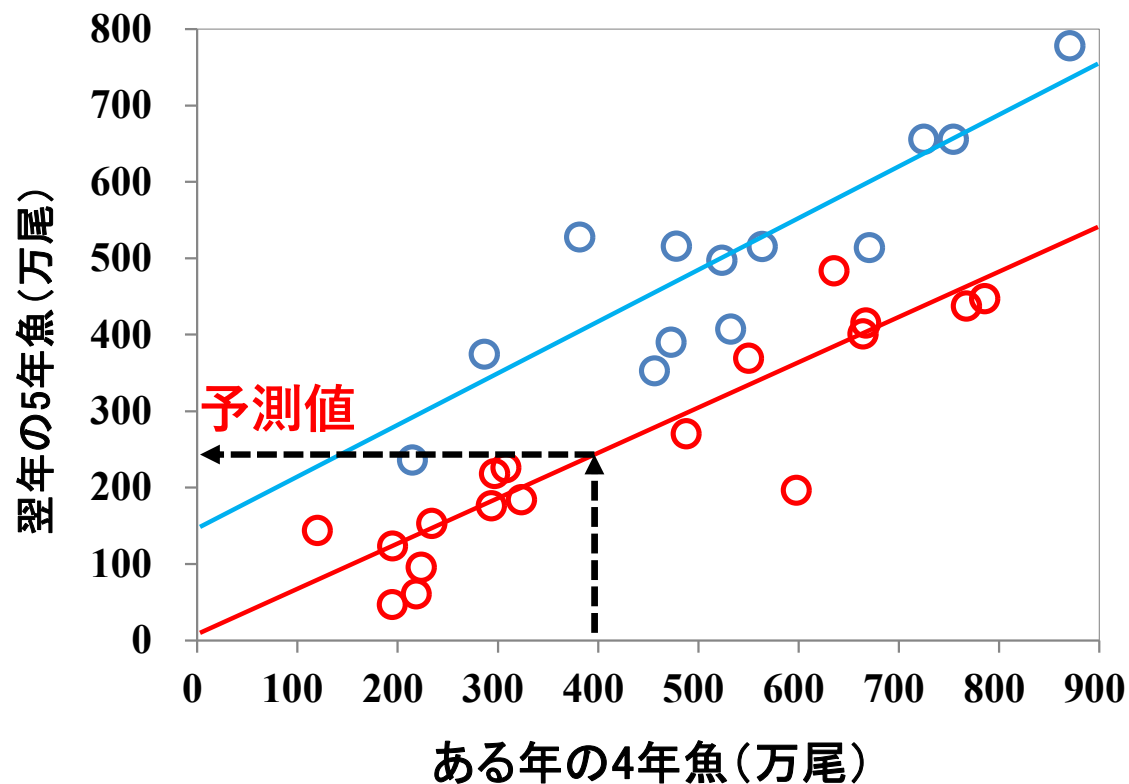
# 漁獲物の平均目廻り



○R5年：R4年を上回って推移

# 秋サケの来遊予測

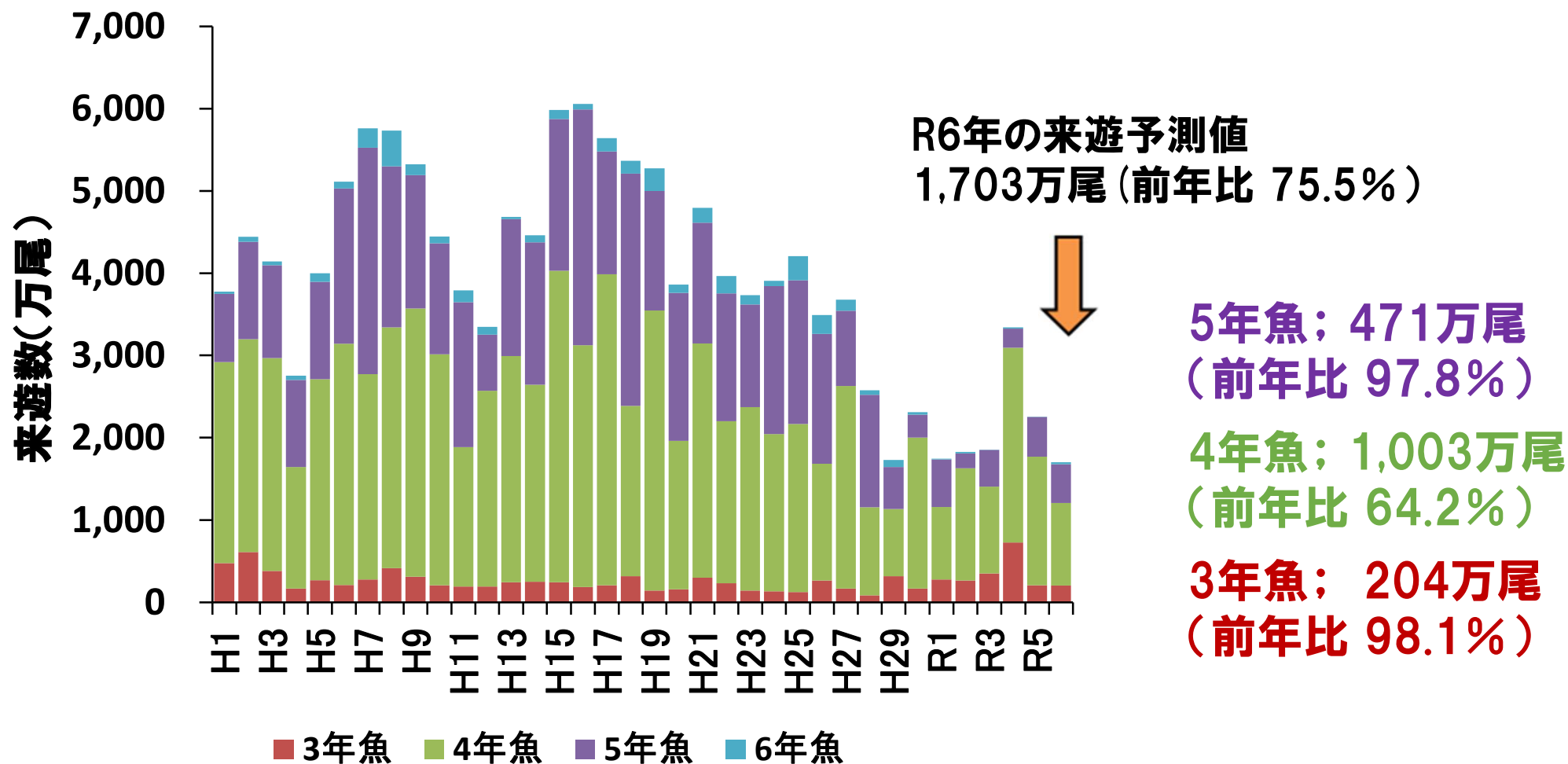
- 従来のシブリング法を基本
- 若齢年級のデータ(○)を使用して分析



**昨年の4年魚が多いと今年の5年魚が多い**

*Haeseker et al. 2007, NAJFM 27, 634-642*

# R6年の北海道への秋サケ来遊予測値



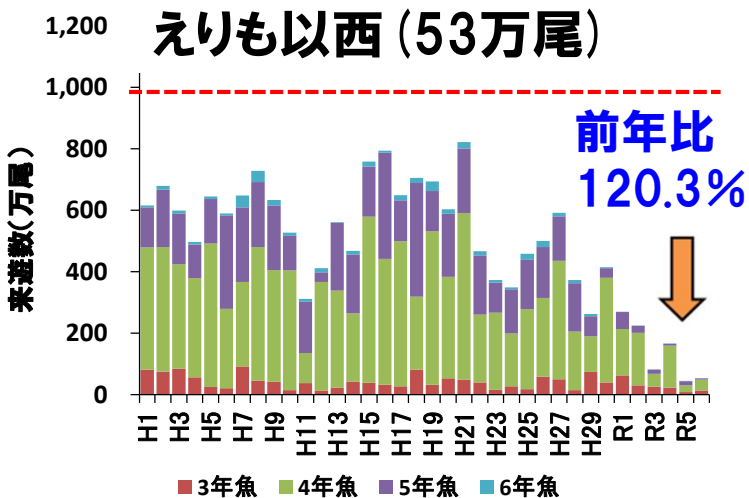
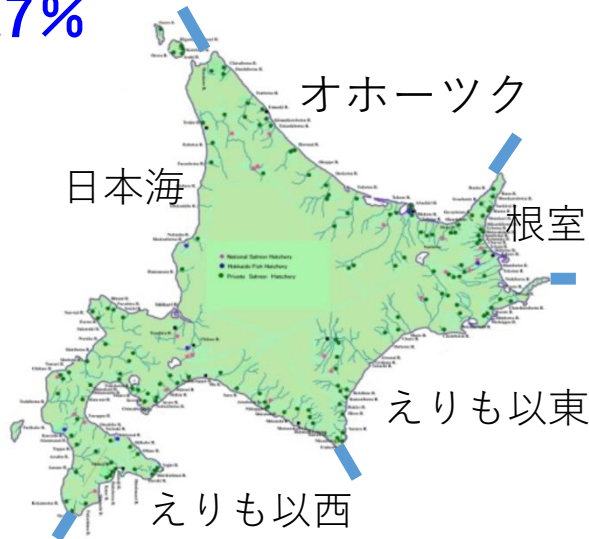
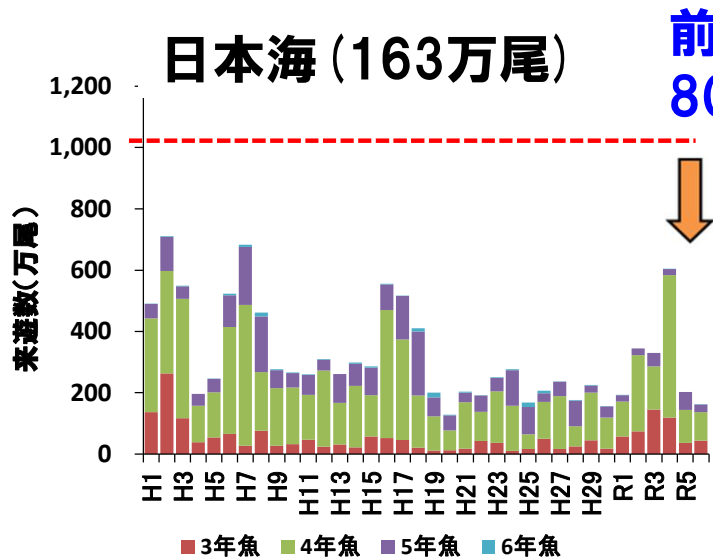
- ✓ 5か年平均(H23-27年)5年魚:1,458万尾、4年魚:2,013万尾、3年魚:167万尾
- ✓ R6予測/5か年平均(5年魚;32.3%、4年魚;49.8%、3年魚;122.7%)

**R6年の来遊予測値に4年魚の減少が大きく影響**

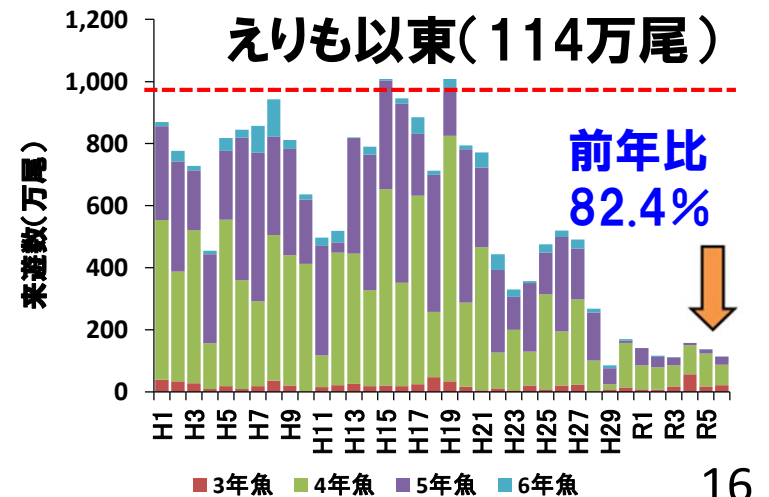
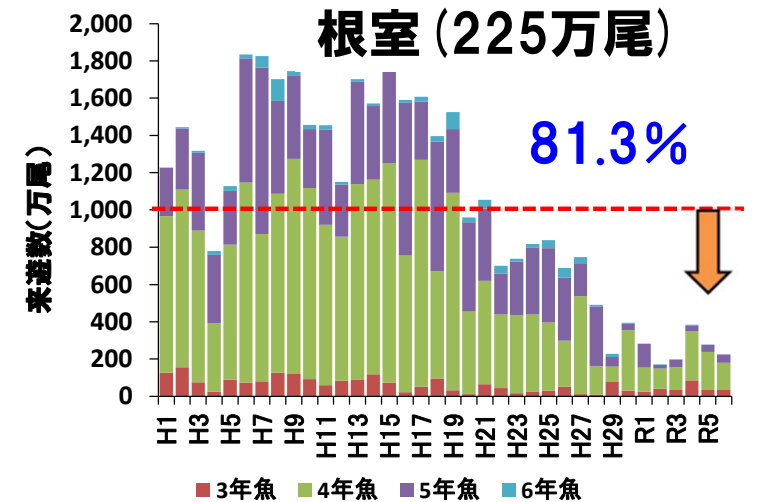
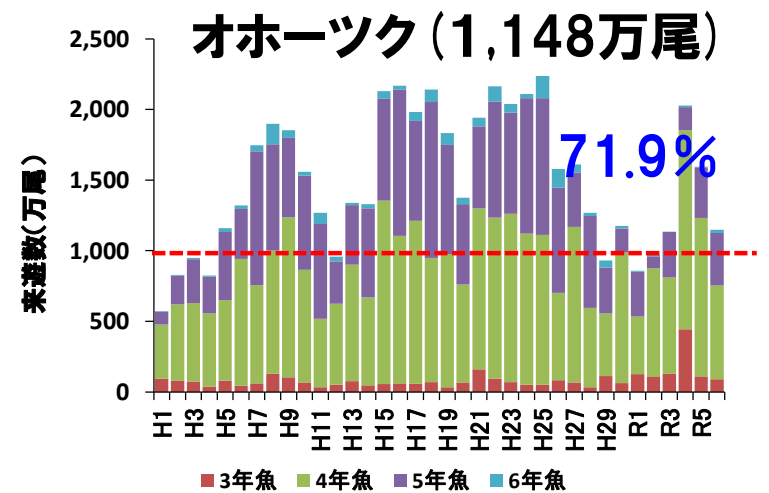


# 今年の各海区への来遊予測

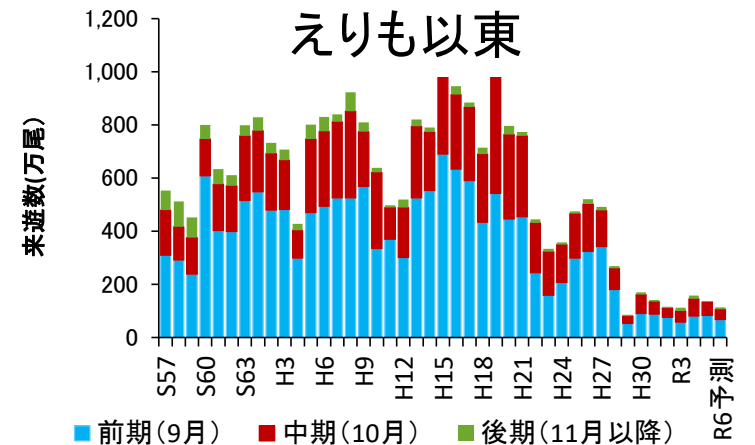
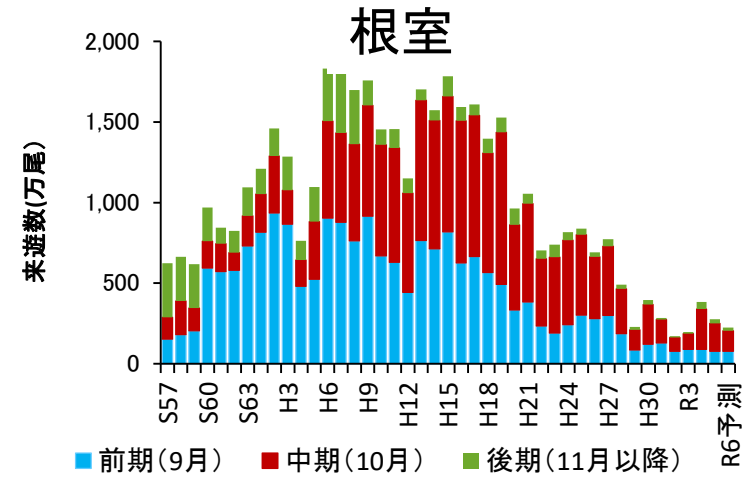
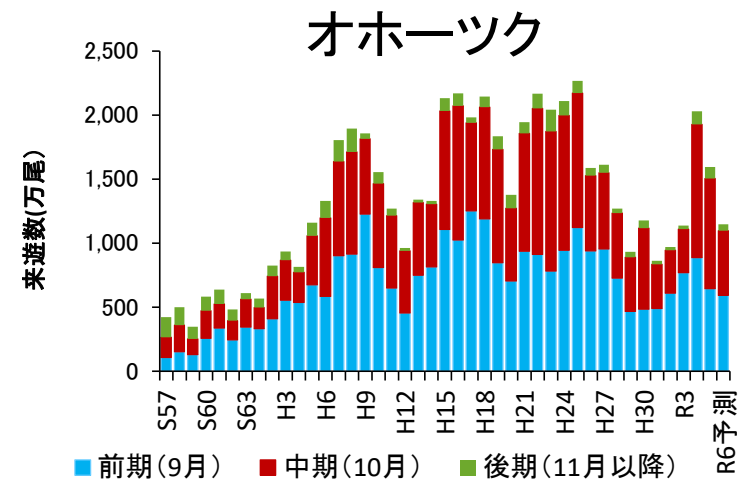
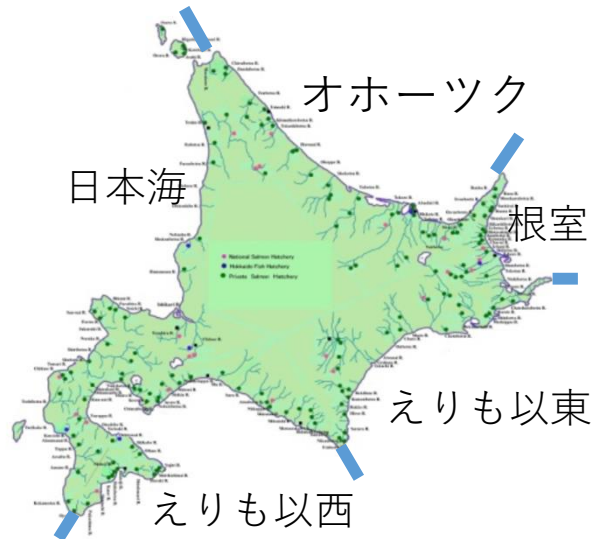
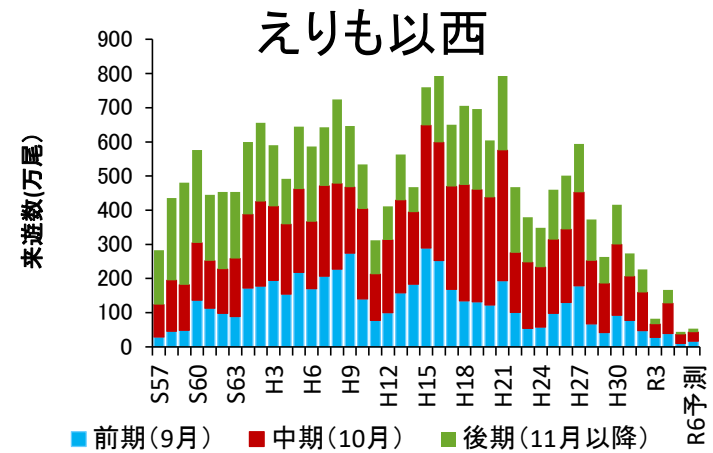
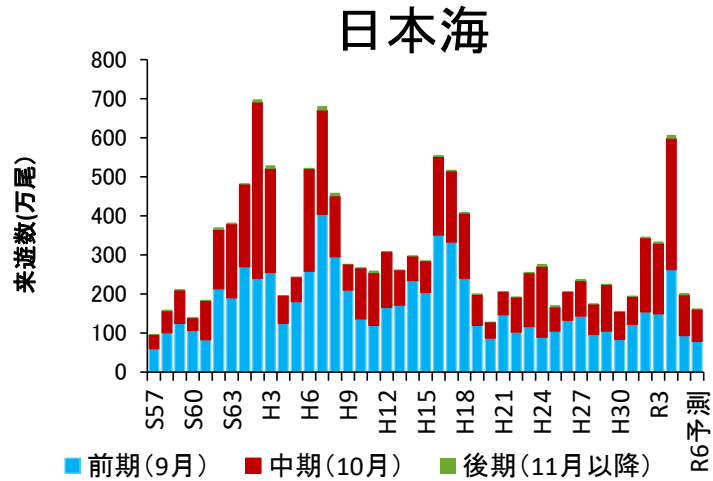
( ..... 来遊数1,000万尾 )



○えりも以西を除く海区で  
前年を下回る予測  
○ただし、えりも以西でも  
資源低迷が顕著



# 今年の各海区への期別来遊数

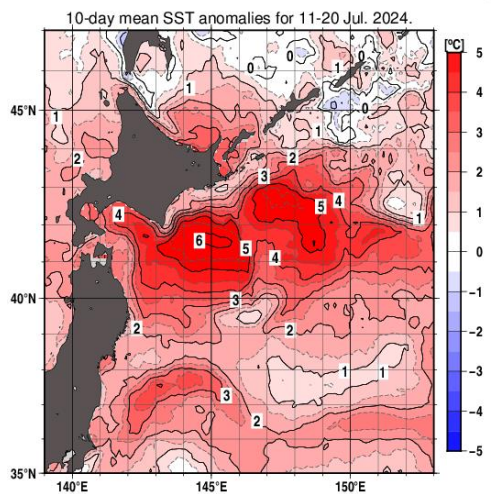
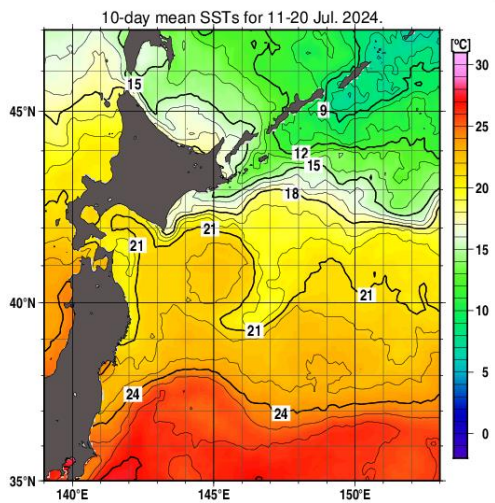


○えりも以西を除いて昨年を下回る予測

○オホーツク、根室では前期は前年並みで中期が減少  
それ以外では前期、中期共に減少

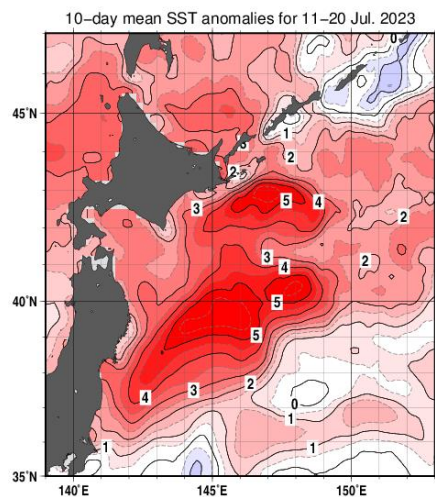
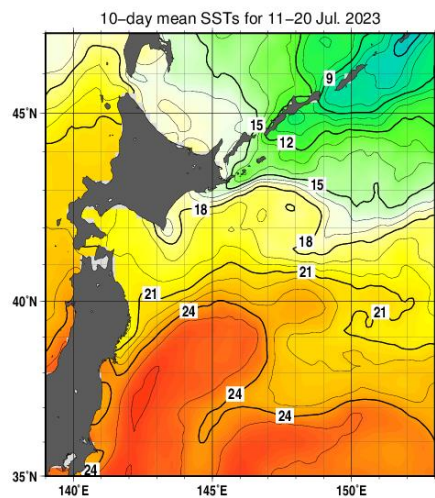
2024(R6)

7月中旬

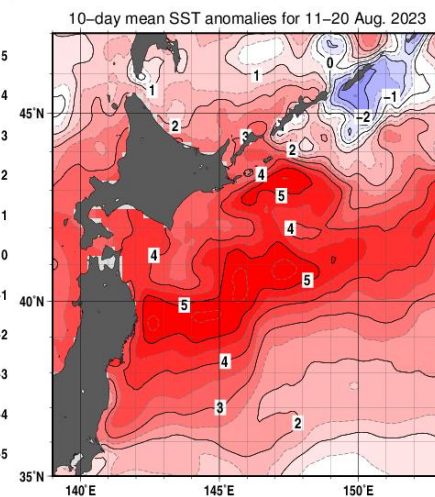
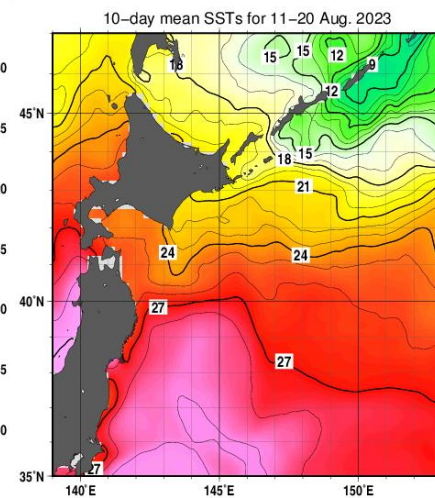


2023(R5)

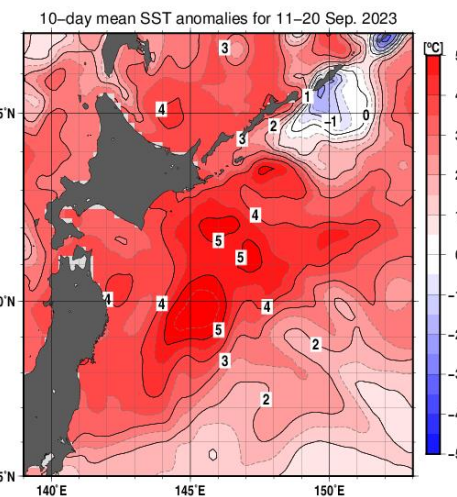
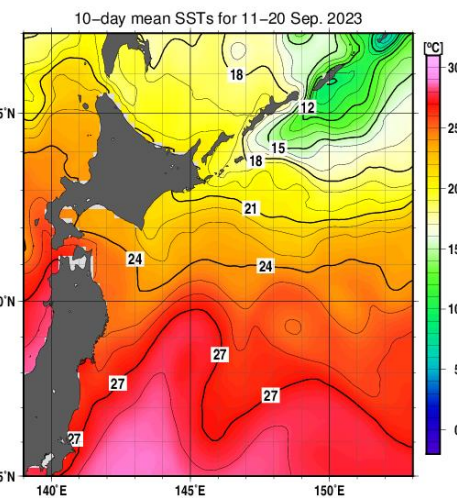
7月中旬



8月中旬



9月中旬



R6年の海水温の推移は？

## R5年の秋サケ来遊状況の特徴

- R5年の秋サケ来遊数は2,357万尾と再び2,000万尾台へ
- 5年魚は481万尾とR4年の約2倍であったものの、平均（H23-27年）の3割程度
- 4年魚は1,562万尾とR4年の66%、平均（H23-27）の8割弱
- いずれの海区もR4年の平均目回りを上回った。

## R6年の秋サケ来遊予測

- 全道への来遊数は1,703万尾（前年比 67.4%）
- 5年魚は471万尾と昨年並み（前年比 97.8%）。  
一方、4年魚は1,003万尾と昨年より減少（前年比 64.2%）。
- 昨年は9月の沿岸漁獲が伸び悩み、10月以降漁獲が伸長  
R6年も海水温が高い傾向にあり、注視が必要